

## 平成 29 年度 公益財団法人印旛沼環境基金事業計画

### 1 設立趣旨

この法人は、印旛沼の水質浄化を推進し、もって印旛沼流域の環境保全に資することを目的とする。

### 2 沿革

昭和 59 年 11 月 20 日、佐倉市宮小路町 12 番地に財団法人印旛沼環境基金として、旧民法第 34 条の規定に基づいて、千葉県知事の設立許可を受けて発足、平成 26 年 4 月 1 日に公益財団法人印旛沼環境基金に移行。

### 3 事業活動の基本方針

印旛沼の水質浄化および流域の環境保全を推進するため、印旛沼流域住民の力を結集し、環境保全活動等の活性化と啓発を図る。

### 4 平成 29 年度の重点目標

印旛沼および流域内河川等で関係機関によって実施された各種環境調査の結果を取りまとめ、精査するとともに、補足的な調査を行い、その成果を印旛沼の環境保全活動に資する。

また、印旛沼の環境保全に関する印旛沼流域住民の意識高揚のための啓発活動とともに、市民による広範な活動を支援する。

### 5 事業内容

#### (1) 印旛沼および流域における調査研究（定款第 4 条第 1 項第 1 号関係）

##### ① 水質調査等結果の取りまとめ（継続）

印旛沼および流域の河川・排水路等で千葉県および流城市町が実施した水質等に関する調査結果を広く収集し、取りまとめる。それらの結果は、平成 30 年度発行予定の「平成 29・30 年版いんば沼白書」に掲載予定。

##### ② 各種環境情報等の収集と取りまとめ（継続）

印旛沼等の環境保全に関わる各種情報（例えば、流城市町が対処・処理した環境に関する問題・苦情等、助成した事業や水環境関連行事、啓発活動など）について取りまとめる。それらの結果は、基金が隔年発行する「いんば沼白書」等に掲載し、流域内外の関係者や流域住民に周知する。

##### ③ 動植物（生態系）に関する調査研究（継続）

環境保全に対する住民への効果的な啓発活動等に資するため、印旛沼に繁茂するオニビシや特定外来種のオオフサモおよびナガエツルノゲイトウの分布調査等を行う。なお、調査にあたっては、必要に応じて印旛沼および流域で調査・研究に携わっている専門家や、NPO 法人を含む一般市民団体の協力を得て行う。

#### (2) 講習・学習会および観察会（定款第 4 条第 1 項第 2 号関係）

##### ① 講習・学習会等の講師派遣（継続）

流域内・外の市町、学校（法人）および一般市民団体等（NPO 法人を含む）が主催（共催）する印旛沼に関する学習会、講演会および講習会等の講師の依頼を受け派遣する。

- ② 観光船による印旛沼観察会（継続：印旛沼水質保全協議会と共催）  
 印旛沼流域住民を対象に観光船で沼および周辺の自然を観察する。
- ・対 象：印旛沼流域内の住民
  - ・募集人数：120名程度
  - ・開 催：平成29年7月27日（木）〔予備日：7月28日（金）〕
  - ・講 師：（公財）印旛沼環境基金研究員、他
- ③ 親子で学ぼう印旛沼（継続）
- ・佐倉市と共催  
 佐倉市在住の親子を対象として、印旛沼について理解を深めるため、観光船で沼を観察する観察会と沼の水質の検査実習を行う。
    - ・対 象：佐倉市在住の小・中学生と保護者
    - ・募集人数：40名程度
    - ・開 催：5月下旬
    - ・講 師：（公財）印旛沼環境基金研究員、他
  - ・印西市と共催  
 印西市在住の親子を対象として、印旛沼について理解を深めるため、観光船で沼を観察する観察会と沼の水質の検査実習を行う。
    - ・対 象：印西市在住の小学生と保護者
    - ・募集人員：40名程度
    - ・開 催：8月下旬
    - ・講 師：（公財）印旛沼環境基金研究員、他
  - ・酒々井町と共催  
 酒々井町在住の親子を対象として、印旛沼について理解を深めるため、観光船で沼を観察する観察会と沼の水質の検査実習を行う。
    - ・対 象：酒々井町在住の小・中学生と保護者
    - ・募集人数：40名程度
    - ・開 催：8月上旬
    - ・講 師：（公財）印旛沼環境基金研究員、他
- ④ 印旛沼環境基金公開講座（共催：佐倉市、後援：印旛沼流域水循環健全化会議）
- ・対 象：印旛沼流域内・外の一般住民（一講座当たり募集定員：100名）
  - ・場 所：ミレニアムセンター佐倉 ホール
- 《開 催》
- ・第1回：平成29年8月5日（土）13：30～15：30（内諾済み）  
 テーマ：「印旛沼流域水循環健全化第2期行動計画」及び「第7期印旛沼に係る湖沼水質保全計画」の概要  
 講 師：千葉県県土整備部河川環境課職員  
 千葉県環境生活部水質保全課職員
  - ・第2回：平成29年9月2日（土）13：30～15：30  
 テーマ：印旛沼の歴史（その1）  
 ー利根川東遷事業、江戸期の掘割工事から明治・昭和期の利根川改修工事ー  
 講 師：本橋 敬之助（公財・印旛沼環境基金）

- ・第3回：平成29年10月7日（土）13：30～15：30  
 テーマ：印旛沼の歴史（その2）  
 ー大正期の安食水門建設から昭和期の印旛沼開発（干拓）事業ー  
 講師：本橋 敬之助（公財・印旛沼環境基金）
- ・第4回：平成29年11月4日（土）13：30～15：30  
 テーマ：いんば沼の水環境の変遷と水利用  
 講師：本橋 敬之助（公財・印旛沼環境基金）
- ・第5回：平成29年12月2日（土）13：30～15：30  
 テーマ：いんば沼の生きものたちの変遷  
 講師：本橋 敬之助（公財・印旛沼環境基金）

(3) 啓発・宣伝（定款第4条第1項第2号関係）

① ホームページの公開（継続）

インターネットを利用して、当環境基金の事業等についての紹介と同時に、印旛沼および流域の環境保全等を住民に対して啓発するとともに、他団体との情報交換を行う。

② 「水辺の風景画コンクール」の開催（継続）

印旛沼流域の小・中学校の児童および生徒が流域内外の湖沼や河川等でみた、また触れたなどの体験を描いた水辺の風景画を募集し、審査に通った作品を佐倉市立美術館で展示（展示期間：平成30年1月17日～21日）、また優秀な作品については表彰し、さらには流域の市町を巡回して一般市民の方々に鑑賞してもらう。

《表彰式》

- ・日 時：平成30年1月21日（日）14：30～15：30
- ・場 所：佐倉市立美術館4階ホール

③ 「印旛沼連携プログラム」サポート企業の登録等（継続）

千葉県「印旛沼連携プログラム」にサポート参加希望の企業の登録等に関する事務を行う。

④ 刊行物等の編集・発行（継続）

》》 雑誌「いんば沼」（第38号）

- ・発行部数：4,000部（委託印刷：毎年）
- ・発行予定：平成29年5月頃
- ・配布先：流域市町、県、その他関係機関、一般住民

》》 印旛沼環境基金パンフレット

- ・発行部数：5,000部（委託印刷）
- ・発行予定：平成29年5月頃
- ・配布先：流域市町、県、その他関係機関、一般住民

》》 小学生向け印旛沼環境学習用教材

学習目的に応じ、編集する。

- ・発行予定：随時
- ・配布先：講習・学習会および観察会の参加者、環境関連行事参加者

⑤ 刊行物等の頒布（継続）

環境基金編集・発行の刊行物等を県や市町およびその他の関連機関が開催する環境関連行事等において無料配布（雑誌「いんば沼」、「いんば沼のはなし」など）、または有料で頒布（隔年版「いんば沼白書」、「自然と文化」など）する。

(4) 環境保全団体等への助成（定款第4条第1項第3号関係）

① 助成金の交付（継続）

印旛沼および流域において自然環境に関する調査・研究や、環境保全に関わる啓発等の各種活動を行っている小・中・高等学校、大学およびNPO法人を含む一般市民団体等を対象に助成金を交付する。

② 助成事業成果報告会の開催（継続）

助成金を交付した団体を一堂に会し、事業成果報告会を開催し、講師から講評していただき、今後の印旛沼における更なる環境保全活動の向上に繋げる。

- ・日 時：平成30年1月26日（金）
- ・場 所：印旛合同庁舎2階大会議室
- ・講 師：未 定